

『ブラームスは大好き』（フランソワーズ・サガン）

10月28日(水)に1年生の音楽選択の授業で、外部からヴァイオリスト齋藤明子先生をお招きし、本校の音楽教諭沢本くるみ先生のピアノとの二重奏の通算11回目となる室内楽を堪能しました。演奏の前に齋藤先生によるヴァイオリンと曲のワンポイント解説もあり、生徒にとっては目と鼻の先で生の楽器演奏を体感できる貴重な時間になりました。

曲目は、クライスラー『プレリュードとアレグロ』、ブラームス『ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番より第1章』、アラン・メンケン『ホール・ニュー・ワールド』などの内外の有名な曲が演奏されました。



ヴァイオリン（齋藤先生）とピアノ（沢本先生）の二重奏によるエルガー『愛の挨拶』



齋藤先生がヴァイオリンの構造と魅力の解説